

今週（5月1日から5月12日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

5月1日以降のインターバンク市場は、引き続き邦銀業態からの調達を中心となった。

無担保コールO/Nは、連休の中日となった1日、2日は、決定会合や月末要因が剥落したものの、依然として低水準での取引が中心となった事で、加重平均レートは▲0.07%前半での推移となった。週が替わった8日は、連休明けでビッドサイドには様子見姿勢を取った先もあり、引き続きギブン地合いが継続された事で、加重平均レートは▲0.073%となった。しかし9日以降は、積み最終日に向けビッドサイドの調整が本格化し、一部テイクンが見られるなど地合いが反転する展開となった。その後も取り上がる動きが継続された事で、加重平均レートは9日▲0.070%、10日▲0.061%、11日▲0.046%と、日を追う毎に上昇する展開となった。12日は、今積み期最後の週末3日積みとなった事もあり、一段と上昇する動きが見られた。

ターム物はショートタームを中心に引き合いが散見された。

日銀当座預金残高は、1日の2年債発行を受け551兆円程度まで減少して始まり、8日の税・保険料揚げ、10日の10年債発行などを主因に徐々に減少し、10日以降は545兆円近辺での推移となった。

●レポ市場

5月1日以降のGCT/Nは、1日は連休を跨ぐ取引となった事で、オファーサイドの資金調達姿勢が後退し、▲0.250～▲0.150%近辺の出会い、2日は、短国入札を経てオファーサイドの勢いが回復した事から、▲0.180～▲0.095%近辺の出会いとなり、いずれもワイドな展開となった。週が替わった8日以降は、▲0.105～▲0.085%の出会いとなった。積み最終日が近づくなか、オファーサイドの資金調達姿勢が強くなり、前週に比べ甘い水準での推移となった。

SCは、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

5月1日以降の短国市場は、動意に乏しい展開が続く中、9日の6M物の入札結果を受け、全般的にしっかりと推移した。

入札に関しては、2日に実施された3M物は、平均落札利回り▲0.1663%、按分落札利回り▲0.1563%と小じっかりとした結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでも▲0.17%近辺で出会いが見られるなど堅調に推移した。9日に実施された6M物は、平均落札利回り▲0.1684%、按分落札利回り▲0.1526%と強めの結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでも▲0.16%台半ばでの出会いが見られるなど堅調に推移した。12日に実施された3M物は、平均落札利回り▲0.1756%、按分落札利回り▲0.1663%と、こちらもしっかりとした結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットではやや軟調に推移した。

短国買入オペは、11日に前回と同額の1,000億円でオファーされ、按分利回較差0.000%、平均利回較差+0.001%と、強めの結果となった。

●CP市場

5月1日以降のCP発行市場は、その他金融・鉄鋼・電気機器等の複数業態で大型発行が行われた。しかし、全体としては発行が弱含む中、償還超となった事で、市場発行残高は減少傾向となり、辛うじて24兆円台に留まっている。

発行レートについては、日銀の適格担保銘柄は概ね0%から浅いプラス圏で決着している。

CP等買入オペは、11日に事前予定通り4,000億円でオファーされた。結果は、全取レート▲0.028%、平均レート+0.014%となり、最低落札レートは昨年7月8日以来のマイナスとなった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
5/1 (月)	29,123.18	0.400	136.69	△ 0.073	△ 0.174	5,509,900
5/2 (火)	29,157.95	0.415	137.52	△ 0.074	△ 0.153	5,508,200
5/3 (水)						
5/4 (木)						
5/5 (金)						
5/8 (月)	28,949.88	0.409	135.07	△ 0.073	△ 0.103	5,468,000
5/9 (火)	29,242.82	0.420	135.28	△ 0.070	△ 0.098	5,483,600
5/10 (水)	29,122.18	0.410	135.15	△ 0.061	△ 0.098	5,453,400
5/11 (木)	29,126.72	0.385	134.10	△ 0.046	△ 0.100	5,452,700
5/12 (金)	29,388.30	0.380	134.55	△ 0.030	△ 0.095	5,439,300

来週（5月15日から5月19日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
5/15 (月)	4月の企業物価指数(日銀 8:50) 3月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)	5Y 25,000億円 5/16発行		
5/16 (火)		交付税借入 13,000億円 5/23借入		4月の米小売売上高 4月の米鉱工業生産・設備稼働率 3月の米企業在庫 1-3月期のユーロ圏GDP2次速報
5/17 (水)	1-3月期のGDP 1次速報(内閣府 8:50)	20Y 12,000億円 5/18発行		4月の米住宅着工件数 4月のユーロ圏消費者物価指数改定値
5/18 (木)	4月の貿易統計(財務省 8:50)	TB1Y 35,000億円 5/22発行	国有林野借入 491億円 5/25借入	4月の米中古住宅販売
5/19 (金)	4月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 3月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30) 3月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TB3M 63,000億円 5/22発行	流動性供給 5,000億円 5/22発行	

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
5/15 (月)	1,500	▲ 2,500	▲ 1,000	国債買入 国債補完 CP買入	24,400 ▲ 400	13,700	37,700	36,700	TB3M発行▲63,000償還60,000 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲2,400 個人向け3・5Y償還400
5/16 (火)	2,000	▲ 26,000	▲ 24,000	CP買入		4,000	4,000	▲ 20,000	5Y発行▲25,000
5/17 (水)	1,500	▲ 2,000	▲ 500				0	▲ 500	交付税借入▲13,000償還13,000
5/18 (木)	▲ 500	▲ 13,000	▲ 13,500				0	▲ 13,500	20Y発行▲12,000
5/19 (金)	1,000	▲ 2,000	▲ 1,000				0	▲ 1,000	
週間合計	5,500	▲ 45,500	▲ 40,000	—	24,000	17,700	41,700	1,700	

5/15は日銀予想、5/16以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、16日より新積み期入りすることからビッドサイドの動向が注目される。債券レポ GC T/N物は、新積み期となるなか、▲0.110～▲0.085%近辺での推移が予想される。短国市場は、18日に1Y物、19日に3M物の入札実施が予定されている。また、16日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、20日を挟む発行集中日が予定されており、参加者の動向が注目される。

主要なイベントは、国内では、17日に1-3月期のGDP1次速報、19日に4月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、16日に4月の米小売売上高、1-3月期のユーロ圏GDP2次速報、17日に4月のユーロ圏消費者物価指数改定値などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入